

公開シンポジウム

世界はレイシズムと どう向き合ってきたか

地域研究とジャーナリズムの現場から

2014年7月26日 (土) 13:00~17:00

大阪大学中之島センター10F 佐治敬三メモリアルホール
(大阪市北区中之島4丁目3-53)

韓国人や中国人を標的とした民族差別、排外主義を煽動するヘイト言辞がネット空間に溢れている。東京・大阪などでは、しばしば憎悪とデマを拡散させることを目的としたデモや演説が行われるようになった。人が傷つき、憎しみ合い、剥きだしの暴力が飛びかうようなことにならないか、日本社会の将来を多くの人が心配し始めている。

レイシズム、ヘイト行動は、世界の多くの場所で人と人が諍い、争う原因となってきた。それは時に、民衆どうし、隣人どうしが暴力を応酬し、大勢の人の命が失われる悲劇をまねいた。一方で殺しあいや虐殺が発生した地域では、対立を和らげ、憎悪が発生・膨張していった原因を探って再発を防ごうという努力がなされている。地域研究者とジャーナリストは、世界の現場でそれらを目撃してきた。各地で起こった民族、人種、宗派の違いによる対立、葛藤や、その克服の事例を報告する。

日本でもくすぶり始めたレイシズムと憎悪犯罪。世界の経験から私たちは何を学ぶべきか。地域研究者とジャーナリストは、立場や方法の違いを超えて課題に取り組む必要がある。このシンポジウムを未来に向けた協働の第一歩としたい。

主催：地域研究コンソーシアム (JCAS)
アジアプレス・インターナショナル
京都大学地域研究統合情報センター (CIAS)
京都外国語大学京都ラテンアメリカ研究所 (IELAK)
調査報道NPOアイ・アジア (IASIA)
大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL)

▶ 趣旨説明 山本博之 (京都大学地域研究統合情報センター)

第1部 世界はレイシズムとどう向き合ってきたか：現場からの報告

- ▶ 「ルワンダのジェノサイド：「民族対立」はいかにして作られたのか」
小峯茂嗣 (大阪大学GLOCOL)
- ▶ 「インドネシア・アチェ：和平後に台頭する排外主義」
佐伯奈津子 (早稲田大学アジア研究機構)
- ▶ 「コソボ、クルディスタン、イラクの民族・宗教対立」
坂本 卓 (アジアプレス・インターナショナル)
- ▶ 「「反日デモ」から考える中国」
米村耕一 (毎日新聞外信部)

第2部 日本はレイシズムとどう向き合うのか：さまざまな立場

- ▶ コメント
金 千秋 (NPO法人エフエムわいわいプロデューサー)
康 有新 (大阪大学院生：博士前期課程)
武田 肇 (朝日新聞大阪社会部記者)
- ▶ 総合討論
- ▶ 閉会の辞 宮原 暁 (大阪大学グローバルコラボレーションセンター)

司会：西 芳実 (京都大学地域研究統合情報センター)

石丸次郎 (アジアプレス・インターナショナル)

進行：立岩礼子 (京都外国語大学京都ラテンアメリカ研究所)



地域研究コンソーシアム
LOCAL COMMUNICATION FOR ASIAN BRIDGES



CIAS



iAsia

GLOCOL
GLOBAL COLLABORATION CENTER

参加方法：無料、申し込み不要

お問い合わせ：地域研究コンソーシアム (JCAS) 事務局
jcasjimu@jcas.jp TEL: 075-753-9616 FAX: 075-753-9602

公開シンポジウム

世界はレイシズムとどう向き合ってきたか：地域研究とジャーナリズムの現場から

2014年7月26日（土）13：00～17：00



佐伯奈津子（さえき なつこ）

1部発表

インドネシア民主化支援ネットワーク／早稲田
大学アジア研究機構 招聘研究員

インドネシアの資源開発と紛争、人権問題について、日本のかわりを中心に調査し、提言活動をおこなう。



米村耕一（よねむら こういち）

1部発表

毎日新聞外信部 記者

2010年4月から3年間中国総局（北京）勤務。慶應大学総合政策学部卒。



小峯茂嗣（こみね しげつぐ）

1部発表

大阪大学グローバルコラボレーションセンター 特任助教

NGOとしてルワンダの平和構築支援活動に携わる。ルワンダの国民和解のための法政策について研究中。2010年より現職。



坂本 卓（さかもと たく）

1部発表

アジアプレス・インターナショナル ジャーナリスト

専門はクルド問題。レバノン、コソボ、アフガニスタン、イラクなどのルポを多数発表。



西 芳実（にし よしみ）

司会

京都大学地域研究統合情報センター 准教授

インドネシア地域研究、アチェ近現代史。主な研究テーマは多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程。



石丸次郎（いしまる じろう）

司会

アジアプレス・インターナショナル ジャーナリスト

1962年大阪出身。北朝鮮取材は国内に3回、朝中国境地帯には約95回。これまで900超の北朝鮮の人々を取材。



大阪大学中之島センター10F 佐治敬三メモリアルホール
（大阪市北区中之島4丁目3 - 53）

電車によるアクセス

- ・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
- ・阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- ・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- ・JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分
- ・地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

バスによるアクセス

- ・大阪市バス(53系統)
大阪駅前バスターミナル → 中之島四丁目(旧玉江橋) 下車 徒歩1分
- ・大阪市バス(75系統)
大阪駅前バスターミナル → 田蓼橋 下車 徒歩2分
- ・北港バス(中之島ループバス ふらら)
淀屋橋発(土佐堀通/住友ビル前) → 大阪大学中之島センター前 下車 徒歩1分



参加方法：無料、申し込み不要

お問い合わせ：地域研究コンソーシアム（JCAS）事務局
jcasjimu@jcas.jp TEL: 075-753-9616 FAX: 075-753-9602